

Ⅱ 「安心」への取組

※指標・数値目標を設定した取組の番号は丸付き数字(①等)で、取組目標を設定した取組の番号は数字(10等)で表記しています。

(1) 食品表示の適正化

実施する取組	担当課室	令和4年度取り組み状況 (取組目標を設定したものは自己評価内容)	達成度 (自己評価)
① 「食品表示推進者育成講習会」を開催し、正しい食品表示に取り組む食品表示推進者を育成します。	食品・生活衛生課	食品表示推進者育成講習会を7回開催し、食品関係事業者184名が受講した。	概ね達成
② 食品販売所で販売等に携わる者を対象に、事業者個別の要望に応じた内容について出張で食品表示講習会を行います。	食品・生活衛生課	販売等に携わる事業者から食品表示講習会の要望を受け付け、保健所と連携し、講習会を1回開催した。	未達成
③ 農産物直売所における食品表示巡回監視において、不適正な表示をしている事業者に対し、講習会を行います。	食品・生活衛生課	巡回監視において、不適正な表示をしていた事業者等を対象に、直売所向け講習会(WEB1回含む)を開催した。	達成
4 食品・生活衛生課及び各県立保健所に食品表示相談窓口を設置し、事業者等からの相談にワンストップで対応します。	食品・生活衛生課	食品・生活衛生課及び各県立保健所(支所)が相談窓口として事業者等からの相談を受け付け、関係課室と連携のもと、相談対応を行った。令和4年度の相談件数は、県全体で684件であった。	(達成)
⑤ 食品衛生監視指導計画に基づき食品表示の監視指導を実施するとともに、夏期及び年末において食品表示の一斉監視指導を実施します。	食品・生活衛生課	食品衛生監視指導計画等に基づき表示を行っている施設において、表示の確認を行い、不適正な表示について改善指導を行った。	達成
⑥ 「食品表示法」施行に係る経過措置期間終了に伴い、広域スーパーマーケット等への重点監視を行います。	食品・生活衛生課	広域スーパーマーケット8事業者に対し、食品の表示を確認した。	達成
⑦ 食品衛生法に基づく許可が不要な食品(農産物、農水産物の単純加工品)が多く販売されている農産物直売所において、食品表示の監視を行います。	食品・生活衛生課	農産物直売所31店舗において、食品の表示を確認し、不適正な表示について改善指導を行った。	達成
⑧ 「食品表示ウォッチャー」を依頼し、食品表示の状況を消費者の視点からチェックします。	食品・生活衛生課	30名のウォッチャーを設置し、年間で540店舗、4,356回モニタリング活動があった。食品表示等に関する報告が40件あり、うち35件は疑義情報として受理し、事業者に指導を行った。	概ね達成
⑨ 違反広告に関する指導事例を広告監視担当者会議で共有し、同様の違反広告の監視指導の強化や迅速化を図ります。	業務課	広告監視指導に関する担当者会議を開催(1回)し、県内業者が健康食品に医薬品の効能効果を記載していた事例及び他自治体がインターネット監視において確認した違反事例について情報共有した。	未達成
10 「食品表示110番制度」を設け、消費者、事業者等からの通報に対応することにより、不適正な食品表示を排除します。	食品・生活衛生課	食品表示に関する疑問や相談に対し、表示制度等を分かり易く説明した。また、不適正な表示が疑われる情報等は、必要に応じて事業者に調査等を実施、適正表示の徹底を指導した。	(達成)
11 医薬品医療機器等法に違反する食品表示がないように、パンフレットやインターネットなどの広告について監視指導を行います。	業務課	181件の広告を監視し、医薬品医療機器等法に違反する広告(3件)について改善指導した。	(達成)

目標管理項目		2年度	3年度	4年度	(未達成の場合のみ)未達成の原因及び今後の方向性
① 講習会の新規受講事業所数(累計)	目標値	—	—	1,500事業所	
	実績値	1199事業所	1221事業所	1253事業所	
② 講習会の開催回数	目標値	4回	4回	4回	本制度について、事業者に周知する。
	実績値	1回	4回	1回	
③ 講習会の開催回数	目標値	2回	2回	2回	
	実績値	2回	2回	3回	
4 迅速かつ適切な対応	目標値				
	実績値				
⑤ 食品衛生監視指導計画に基づく実施率	目標値	100%	100%	100%	
	実績値	100%	100%	100%	
⑥ 重点監視事業者数	目標値	8事業者	8事業者	8事業者	
	実績値	8事業者	8事業者	8事業者	
⑦ 巡回調査店舗数	目標値	30店舗	30店舗	30店舗	
	実績値	34店舗	44店舗	31店舗	

⑧	食品表示ウォッチャーによるモニタリング回数	目標値	5,460回	5,460回	5,460回	
		実績値	4,115回	4,204回	4,356回	
⑨	広告監視担当者会議の開催回数	目標値	3回	3回	3回	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を鑑み、開催を見合わせた結果、目標の開催回数に満たなかった。今後、担当者会議の実施回数を増やし、違反事例等を共有することで、監視指導の強化や迅速化を図る。
		実績値	1回	2回	1回	
10	調査及び指導の迅速な実施	目標値				
		実績値				
11	迅速な改善指導	目標値				
		実績値				

(2) 人の健康に役立つ食品表示の推進

実施する取組	担当課室	令和4年度取り組み状況 (取組目標を設定したものは自己評価内容)	達成度 (自己評価)
12 「健康食品製造業者連絡協議会」の研修を開催し、表示、広告及び販売方法の適正化を図ります。	食品・生活衛生課	いわゆる健康食品の表示、広告および販売方法の適正化を図るため、研修会を1回開催した。	達成
⑬ 事業者ニーズに基づき、表示対象となる食品の機能性成分の分析方法を拡充しつつ、受託試験を行います。	工業技術センター	キノコ類のビタミンD2及びGABAやカンキツ類のナリルチン及びクロロフィルの定量を行った。	達成

目標管理項目		2年度	3年度	4年度	(未達成の場合のみ)未達成の原因及び今後の方向性
12	アンケートで「理解した」と回答した事業者の割合	目標値	100%	100%	
		実績値	未実施	100%	
⑬	受託試験件数	目標値	6件	6件	
		実績値	6件	6件	

(3) コンプライアンスの向上

実施する取組	担当課室	令和4年度取り組み状況 (取組目標を設定したものは自己評価内容)	達成度 (自己評価)
⑭ 「食品表示に係るコンプライアンス講習会」を開催し、事業所におけるコンプライアンスの徹底を図ります。	食品・生活衛生課	3月9日にインターネット販売における食品表示の情報提供についてのコンプライアンス講習会を開催した。	概ね達成
⑮ 廃棄食品の不正流通防止のため産業廃棄物処理業者等への立入調査を行います。	循環型社会推進課	廃棄食品の不正流通防止のため、令和4年度は産業廃棄物処理業者4件へ立入調査を行った。	概ね達成

目標管理項目		2年度	3年度	4年度	(未達成の場合のみ)未達成の原因及び今後の方向性
⑭	講習会の新規受講事業所数(累計)	目標値	—	682事業所	
		実績値	未実施	563事業所	
⑮	食品残さに係る産業廃棄物処分業者等に対する立入調査件数	目標値	5件	5件	
		実績値	4件	9件	

(4) 生産から販売までの食品情報を公開するしくみ (トレーサビリティシステム)の導入と普及

実施する取組	担当課室	令和4年度取り組み状況 (取組目標を設定したものは自己評価内容)	達成度 (自己評価)
⑯ 米穀事業者を対象に、米トレーサビリティ法に基づく取引記録の作成・保存や産地情報の適正な伝達について啓発します。	果樹園芸課	国から疑義情報の回付のあった事業者に対し、法に基づく事業者の責務について説明・指導を行った。	達成
⑰ 牛トレーサビリティ法に基づき、耳標の適正な管理を指導します。	畜産課	酪農家、繁殖農家へは出生子牛への適切な耳標装着、出生、転出報告、肥育農家には導入時、出荷時の報告並びに耳標脱落時の再装着について全農家に指導実施。	達成
⑱ 商品に関する情報を正しく消費者に伝えるための手法を事業者に研修します。	食品流通課	会社の衛生管理に関する概況や商品情報を正しく伝えるための手法をHACCP高度化推進講習の中で研修した。また、「おいしく食べて和歌山モール」や商談会等で使用する商品提案書(FCP商談会シート)では商品情報を正しく記載する指導を随時おこなっている。	未達成

目標管理項目		2年度	3年度	4年度	(未達成の場合のみ)未達成の原因及び今後の方向性
⑯ 地域米穀事業者の違反件数	目標値	0件	0件	0件	
	実績値	0件	0件	0件	
⑰ 牛飼養者への指導率	目標値	100%	100%	100%	
	実績値	100%	100%	100%	
⑱ 研修会への参加事業者数	目標値	45事業者	45事業者	45事業者	コロナ禍で対面式の研修の機会が減少したため未達成であるが、商品提案書(FCP商談会シート)の作成指導は随時行ってきたため一定の成果はあったと考えている。今後は、研修という形を終了し、FCP商談会シート等の作成指導を個別に実施していく。
	実績値	38事業者	23事業者	27事業者	

(5) 食に関する情報交換の推進

実施する取組	担当課室	令和4年度取り組み状況 (取組目標を設定したものは自己評価内容)	達成度 (自己評価)
⑲ 「食の安全推進会議」を開催し、関係課室間の施策の調整を行うことにより、効果的かつ効率的な施策の実施を推進します。	食品・生活衛生課	7月に会議を開催し、第6次アクションプランの令和3年度実施結果の報告を行った他、次期アクションプラン策定等について協議を行った。	概ね達成
20 「食品衛生管理指導計画」の策定前に県民の意見を募集し、計画に反映させます。	食品・生活衛生課	令和5年度食品衛生監視指導計画(案)についてパブリックコメントを実施し、広く意見を求めた。	(達成)
21 「食の安全県民会議」を開催し、施策に県民の意見を反映します。	食品・生活衛生課	8月、3月に会議を開催し、次期アクションプラン策定や、食品監視指導計画等について協議を行った。	(達成)
⑳ 「出張！県政おはなし講座」等に講師を派遣し、食の安全・安心に関する取組を紹介することで、食の安全への知識を深めていただくとともに、ご意見を頂きます。	食品・生活衛生課	「出張！県政おはなし講座」等に講師を派遣し、県民を対象に研修会を開催し、食品表示や健康食品について説明した。	概ね達成
㉓ 広報誌等を活用し、消費者に向け食の安全・安心に関する知識の普及啓発を行います。	食品・生活衛生課	「県民の友」の7月号、12月号において食中毒予防等に関する啓発を行った。また、メールマガジンやLINEを用いて食の安全に関する情報を発信した。	達成
24 食の安全・安心ホームページ「食の安全・安心わかやま」から、迅速な情報発信を行います。	食品・生活衛生課	講習会やセミナーの開催案内、検査結果の公表等を行い、随時更新した。	(達成)
25 食品等による健康被害の発生またはその恐れがある場合は、速やかに公表します。	食品・生活衛生課	食中毒発生時に、速やかに公表を実施した。	(達成)
㉖ 消費者、生産者及び事業者と一緒に食のリスクについて考える機会を設けます。	食品・生活衛生課	食物アレルギーをテーマに食の安全意見交換会を、湯浅醤油有限会社で食の安全親子教室を開催した。	達成
㉗ 「食の安全意見交換会」を開催し、「身近な食のリスク」について意見交換を行う機会を設けます。	食品・生活衛生課	食物アレルギーに関する食の安全意見交換会を開催し、参加者の23名からアンケートの回答を得た。	達成
㉘ 事業者の安全・安心の取組を消費者に理解していただく機会を設け、事業者と消費者間に「顔の見える関係」の構築を推進します。	食品・生活衛生課	児童及びその保護者30名に対し、湯浅醤油有限会社と協働で事業者における食の安全・安心の取組について講義を行った。	未達成
㉙ 食の安全サポーターを公募し、食の安全・安心に関する情報を発信してリスクコミュニケーションを推進します。	食品・生活衛生課	食の安全サポーター通信の送付(6回)、食の安全親子教室案内の送付(1回)、「和歌山県食の安全・安心確保のための基本方針」の送付(1回)、LINE「食の安全・安心わかやま」の投稿(18回)により情報提供を行った。	達成
30 食品衛生監視指導計画及び結果を公表します。	食品・生活衛生課	令和4年度の食品衛生監視指導計画を令和4年4月1日に公表した。実施結果については令和5年6月中に実施予定	(達成)
31 食品検査の結果を公表します。	食品・生活衛生課	各食品検査の結果を、速やかに県ホームページで公表した。	(達成)
㉚ 安全・安心な「和歌山県産」ブランドの構築に取り組みます。	食品流通課	和歌山県産の食のポータルサイト「おいしく食べて和歌山モール」やフェイスブック、インスタグラム、クックパッドを通じ、「和歌山県産食材」の安全性や品質の良さをPRした。	未達成

目標管理項目		2年度	3年度	4年度	(未達成の場合のみ)未達成の原因及び今後の方向性
⑲ アクションプランの目標達成率(累計)	目標値	—	—	100%	
	実績値	68.4%	78.6%	82.3%	
20 計画案に対する意見募集	目標値				
	実績値				
21 課題や計画についての意見の聴取	目標値				
	実績値				
⑳ アンケートで「理解した」と回答した参加者の割合	目標値	100%	100%	100%	
	実績値	87.5%	—	95.5%	
㉓ 啓発を行った世帯数	目標値	全世帯	全世帯	全世帯	
	実績値	全世帯	全世帯	全世帯	
24 迅速な情報発信	目標値				
	実績値				
25 迅速な公表	目標値				
	実績値				
㉔ アンケートで「有意義であった」と回答した参加者の割合	目標値	100%	100%	100%	
	実績値	—	96%	100%	
㉕ アンケートで「自分の食生活に活かせる」と回答した参加者の割合	目標値	100%	100%	100%	
	実績値	96%	100%	100%	
㉖ 工場見学の受入れ協力事業者数(累計)	目標値	—	—	13事業者	予算等の都合上、毎年度1事業者を対象に実施していたため、目標達成に至らなかった。今後も、食の関係者(消費者、生産者・事業者、県の3者)が相互の理解を深めるため、「食の安全親子教室」を年1回開催し、「アンケートで「有意義であった」と回答した参加者の割合が100%」を目標に取り組む。
	実績値	4事業者	5事業者	6事業者	
㉗ 情報の発信回数	目標値	6回	6回	6回	
	実績値	1回	8回	25回	
30 県ホームページでの公表	目標値				
	実績値				
31 県ホームページでの公表	目標値				
	実績値				
㉘ 商談会やイベントにおいてPRした回数	目標値	120回	120回	120回	商談会やイベントでのPR活動は難しい状況であった。今後もコロナ以前の状況に戻る事が難しいと考えられるので、SNS等を通じた活動を中心に継続する。
	実績値	50回	50回	54回	

(6) 認証制度の充実

実施する取組	担当課室	令和4年度取り組み状況 (取組目標を設定したものは自己評価内容)	達成度 (自己評価)
③③ 「ふるさと認証食品認証制度」により、安心できる特産加工食品を認証します。	農業環境・鳥獣害対策室	2品目、28点を認証(新規:1点、更新27点)。認証品目数(累計)は5品目、認証食品数(R5.4.1現在)は234点。 ①梅干し・調味梅干し:219点、②味付けぼん酢:0点、③だいにんの漬物:3点、④果実ジュース:10点、⑤黒大豆・黒豆煮:2点	達成
34 ふるさと認証食品認証制度の概要と認証食品等をホームページで公表します。	農業環境・鳥獣害対策室	制度概要や、前年度までに認証した認証食品、認証食品を製造する者を県ホームページにて公表した。	(達成)
35 安全・安心を基本に、「和歌山らしさ」和歌山ならではの優れた県産食品を「優良県産品(プレミアム和歌山)推奨制度」により認定・推奨します。	企業振興課	プレミアム和歌山新規・更新認定申請のあった県産品について、食品表示法、薬機法等、食の安全・安心に関する法令審査を実施。法令違反や不適切な表示等があった場合は、是正させたうえで認定を行った。新規92商品、更新157商品を認定した。	(達成)

目標管理項目		2年度	3年度	4年度	(未達成の場合のみ)未達成の原因及び今後の方向性
③③ 認証品目数(累計)	目標値	—	—	5品目	
	実績値	5品目	5品目	5品目	
34 県ホームページでの公表	目標値				
	実績値				
35 安全・安心な県産食品の認定・推奨	目標値				
	実績値				

(7) 環境にやさしい食品づくり

実施する取組	担当課室	令和4年度取り組み状況 (取組目標を設定したものは自己評価内容)	達成度 (自己評価)
③⑥ 化学肥料と化学合成農薬を使用しない、または県慣行使用量の半分に減らして栽培された農産物の生産拡大を推進します。	農業環境・鳥獣害対策室	県内特別栽培実施面積: 169ha 県内有機農業実施面積: 96ha (R4国公表数字未確定のためR3実績)	概ね達成
③⑦ 土づくりや化学肥料・化学合成農薬の使用の削減に取り組む「エコファーマー」の新規認定数を拡大します。	農業環境・鳥獣害対策室	エコ農業を目指す者(エコファーマー)として、7人を新規に認定した。	未達成
③⑧ 環境保全型農業の普及を推進するため、IPM(総合的病害虫・雑草管理)の実践程度を把握するための指標及び評価手法を開発します。	農業試験場	イチゴ炭疽病に対する薬剤感受性試験を実施し、各種薬剤の感受性の実態を把握した。試験結果に基づき、施設栽培イチゴのIPM実践指標を更新予定。	概ね達成
③⑨ IPM防除の実践や環境保全型農業の推進に関する技術研修を行います。	果樹試験場	計9回の研修会において、カンキツ等の主要病害虫の生態やIPMIに基づいた防除対策等についての講演を行った。	達成
④⑩ 養殖漁場の環境モニタリング調査を実施し、養殖業者へ情報提供を行うとともに適切な漁場利用について指導を行います。	水産試験場	5月24日、9月13日に養殖漁場の環境指標となる水質、底質、底生生物等を7地点で調査した。	達成
41 漁場改善計画に則した養殖漁場の改善に努めます。	資源管理課	漁場改善計画を立てた漁場については計画に沿った適切な管理が行われた。	(達成)

目標管理項目		2年度	3年度	4年度	(未達成の場合のみ) 未達成の原因及び今後の方向性
③⑥ 認証取組面積(累計)	目標値	—	—	280ha	/
	実績値	277ha	267ha	265ha	
③⑦ エコファーマー新規認定件数	目標値	40件	40件	40件	持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律が令和4年7月1日に廃止され、R5年度以降はエコファーマー認定を行わない状況下で認定を推進できなかったため。
	実績値	6件	9件	7件	
③⑧ 総合的病害虫・雑草管理実践指標の品目数(累計)	目標値	—	—	16品目	/
	実績値	15品目	15品目	15品目	
③⑨ 研修会の参加人数	目標値	150人	150人	150人	/
	実績値	105人	100人	151人	
④⑩ 漁場モニタリングの調査回数	目標値	2回	2回	2回	/
	実績値	2回	2回	2回	
41 漁場改善計画の履行確認	目標値	/			/
	実績値	/			